

### 運用方針

この上場投資信託（ETF）の投資目的は、インカム・ゲインを追求するすることで、値上がり益の確保は副次的な目的です。

### ファンド概要

ティッカーコード	LMBS
CUSIPコード	33739Q200
イントラデイ・ティッカー	LMBSIV
設定日	2014年11月4日
経費率	0.67%
30日SEC利回り <sup>†</sup>	1.08%
取引所	NASDAQ

### 運用戦略

- ▶ First Trust Low Duration Opportunities ETFはアクティブ型の上場投資信託（ETF）です。
- ▶ 通常、当ファンドは（借入を含む）純資産の少なくとも60%を投資適格証券、不動産関連債券及びその他住宅ローン及び商業用不動産ローンに付随する不動産関連証券へ投資することで運用目標の達成を目指します。
- ▶ 当ファンドへの投資は次のようなメリットをもたらすと想定されます：
  - 3年以下の実効デュレーションを目標として、魅力的なインカム・ゲイン；
  - ポートフォリオの平均デュレーションの限定と集中管理により限定された価格感応性；
  - 当ファンドの資産の少なくとも60%を政府系機関の不動産担保ローンセクターに配分し、クレジットサイクルへの抑えられた価格感応度が期待できる高いクレジット資産の質；
  - この資産クラスは市場規模が大きくかつ流動性が高いことからポートフォリオの機動的なリバランスが可能。

### 運用会社

- ▶ 当ファンドのポートフォリオはFirst Trust Advisors L.P.が選定並びに運用します。
  - 運用チームは世界経済、債券市場のマクロ動向、主要な不動産担保証券セクターの継続的な評価、及びトレンドに焦点をおいたトップダウン手法の調査を行います。
  - ポートフォリオ・マネージャーは、より高いリスク調整後リターンを確保するためには、住宅市場全般のファンダメンタルズの徹底的かつ継続的なモニタリング、定量的ポートフォリオモデル、及び3年という当ファンドの目標デュレーションを超えないようにポートフォリオを機動的に調整することが極めて重要だと考えています。
- ▶ 当ファンドのポートフォリオ・マネージャーは下記2名です：
  - ジム・スナイダー
  - ジェレマイア・チャールズ

### 運用実績の概要 (%)

	3か月	年初来	1年	3年	5年	10年	ファンド設定来
ファンドの運用実績*							
基準価額 (NAV) リターン	0.54	1.48	1.81	2.40	3.33	—	3.30
市場価格リターン	0.62	1.50	1.67	2.39	3.42	—	3.32
指数のリターン**							
ICE BofA 1-5年 US Treasury & Agency指数	0.13	4.20	4.57	3.17	2.19	—	2.13

### 運用実績 (%)

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	YTD
LMBS	—	—	—	—	—	2.37	6.84	1.76	1.46	4.15	1.48
ICE BofA 1-5年 US Treasury & Agency指数	—	—	—	—	—	0.97	1.08	0.66	1.54	4.18	4.20

### リスク 過去3年

	標準偏差 (%)	アルファ	ベータ	シャープレシオ	相関係数
LMBS	1.59	0.61	-0.02	0.34	0.02
ICE BofA 1-5年 US Treasury & Agency指数	1.74	—	1.00	0.85	1.00

### Morningstar総合評価



Short-Term Bondカテゴリーには515本ファンドがあります。リスク調整後リターンで、3年の評価は2★（515本ファンドのうち）、5年の評価は5★（459本ファンドのうち）です。§

記載された運用実績は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。現在の運用成績は、記載された運用実績を上回る場合も下回る場合もあります。投資リターン及び投資元本は変動するため、投資家の受益証券の売却または償還時の価値は取得原価を上回る場合も下回る場合もあります。直近の月末現在までの運用成績は、[www.ftportfolios.com](http://www.ftportfolios.com)にて入手することができます。

<sup>†</sup> 30日SEC利回りは、直近30日間における一株当たりの純投資収益を同期間末日の一株当たり最高オファー価格で割ったものです。

\***基準価額 (NAV) リターン**は、当ファンドの純資産総額（資産から負債を控除した額）を当ファンドの発行済株式数で割った当ファンドの基準価額に基づいて算出したものです。市場価格リターンは、受益証券が上場されている証券取引所において、基準価額が計算される時刻における買呼値と売呼値の伸値に基づいて算出したものです。リターンは平均の年次リターンであり、期間1年未満のリターンは累積リターンです。

\*\***ICE BofA 1-5年 US Treasury & Agency指数**は当ファンドのベンチマークです。指数は運用報酬も仲介手数料もかからず、記載されたリターンから運用報酬も仲介手数料も控除されていません。指数は運用されるものではなく、投資家は指数に直接投資することはできません。

## ポर्टフォリオ情報

保有銘柄数	1609
加重平均実効デュレーション (ロングポジション) <sup>1</sup>	3.05年
加重平均実効デュレーション (ショートポジション) <sup>1</sup>	-1.56年
加重平均実効デュレーション(ネット) <sup>1</sup>	1.49年
加重平均実効残存期間	4.13年

<sup>1</sup> 利回りが変動する際に証券の価格が影響を受け、金利の変動に対する債券の感応度を示す指標。

<sup>2</sup> 格付けは、マグロウヒル社の部門であるスタンダード&プアーズ・レーティング・グループ、ムーディーズ・インベスターズ・サービズ、フィッチ・レーティングスをはじめ、全米で認知された統計的格付機関 (NRSRO) によって同等の評価を受けた格付会社一社以上によるものです。一つの証券が複数のNRSROに評価されており格付けが異なる場合、もっとも高い格付けが採用されます。信用格付けは、NRSROが債券に関して債券発行体の信用力を評価するものです。評価は、一般的にAAA(最上位)からD(最下位)までの範囲で評価されます。投資適格は、長期信用格付けがBBB-以上とされ、「NR」は格付けがないことを示します。示されている信用格付けは、当ファンドまたはその株式ではなく、当ファンドが保有する有価証券の発行体の信用力に関連しています。この資料では、米国債、米国政府機関及び米国政府関係機関の不動産担保証券は(信用度に関して)Government(政府)と分類されます。信用格付けは変更される場合があります。

## 保有上位10銘柄(%)

Fannie Mae or Freddie Mac TBA, 2%, due 06/01/2050	6.71
Fannie Mae FN FM2500, 2.50%, due 03/01/2035	2.05
Fannie Mae FN FM1194, 4.50%, due 05/01/2039	1.78
Fannie Mae or Freddie Mac TBA, 3%, due 03/01/2050	1.70
Freddie Mac FR SB8068, 1.50%, due 10/01/2035	1.57
Freddie Mac Series 4673, Class WZ, 3.50%, due 04/15/2047	1.52
Freddie Mac Series 4790, Class Z, 4%, due 05/15/2048	1.50
Fannie Mae FN FM1725, 2.50%, due 11/01/2047	1.33
Fannie Mae or Freddie Mac TBA, 1.50%, due 08/01/2050	1.22
Fannie Mae FN BN5508, 5%, due 02/01/2049	1.20

## ポर्टフォリオの内訳(%)

政府系機関MBS (パズスルー)	45.62
政府系機関MBS (CMO)	30.89
政府系機関CMBS	10.30
現金及び現金同等物	8.19
非政府系機関RMBS	3.67
米国債先物	0.71
ABS	0.61
First Trust Long Duration Opportunities ETF	0.01

## 信用度/格付け(%)<sup>2</sup>

政府、または政府系機関	87.53
現金及び現金同等物	8.19
AAA	2.94
AA+	0.56
AA	0.11
A	0.01
BBB	0.13
BB+	0.10
BB	0.02
B	0.01
格付けなし	0.40

## 非政府機関RMBS保有銘柄の概要

保有銘柄数	111
平均保有比率	0.04%
加重平均実効残存期間	2.05年
加重平均クーポン	2.84%
加重平均価格	\$102.34

投資の前に、当ファンドの投資目的、リスク、手数料・費用などについて慎重にご検討ください。これに関する情報、また当ファンドのその他の情報は、当ファンドのプロスペクトス又はサマリープロスペクトスに記載されており、First Trustのウェブサイト ([www.ftportfolios.com](http://www.ftportfolios.com)) にて入手することができます。当ファンドへの投資の前にプロスペクトスの内容を十分にご確認ください。

## ETFの特性

当ファンドの優先取引所はNASDAQです。流通市場において当ファンドの受益証券の売買を行う投資家には所定の仲介手数料が課される場合があります。市場価格はある程度当ファンドの受益証券の基準価額から乖離することがあります。受益証券の売却を行う投資家は受益証券の基準価額よりも低い代金を受け取る可能性があります。ミューチュアルファンドと異なり、当ファンドの受益証券の解約は、指定参加者からの巨大なクレーション(又はリデンプション)・ユニットの引き渡しによるのみ行われます。当ファンドの指定参加者がクレーション・リデンプションの注文が執行できず、また他の指定参加者が代わりにクレーション・リデンプションの注文が執行できない場合には、当ファンドの受益証券は当ファンドの基準価額と比べて割引いた価格で取引され、場合によっては上場廃止となる可能性があります。

## 留意事項

当ファンドの受益証券の価格は変動するものであり、元本割れの恐れがあります。当ファンドはアクティブで運用されるため、運用リスクの影響を受けます。当ファンドのポर्टフォリオを運用する上で、運用会社は活用する運用手法及びリスク分析で期待どおりの結果を得られない可能性があります。当ファンドの投資目的が達成される保証はありません。当ファンドは市場リスクの影響を受けます。市場リスクとは、当ファンドが保有する株式、当ファンドの受益証券又はその他の株式の価格が下落するリスクです。2019年12月に発生した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が世界の金融市場において大幅な変動性の増加及び価格の暴落をもたらしており、損失を被っている投資家があります。パンデミックである新型コロナウイルスは長期間流行する可能性があり、予見可能な将来にわたって引き続き経済に影響を及ぼすと考えられます。当ファンドは、信用リスク、利息収入リスク、金利リスク及び期限前償還リスクの影響を受けます。信用リスクとは、証券の発行体が、支払期日に配当、利息、元金の支払いを行うことができなくなり、結果、証券の価値が下がるリスクです。利息収入リスクとは、金利が下がっている期間、当ファンドが保有する確定利付証券の収益が減少するリスクです。金利リスクとは、金利が上昇すると、当ファンドが保有する確定利付証券の価格が下落するリスクです。期限前償還リスクとは、期限前償還された証券と同程度の有利な条件で資金が再投資できないリスクです。

§ 当ファンドのMorningstar Rating™ (星評価)は、最低3年の運用実績のある運用商品(ミューチュアルファンド、変額年金保険並びに変額生命保険のサブ口座、上場投資信託、クローズドエンド型ファンド、及びセパレートアカウントを含む)を対象として計算されるものです。上場投資信託及びオープンエンド型ミューチュアルファンドは比較的目的のため一部の母集団としてみなされます。Morningstar Ratingは、運用される商品の月次超過リターンの変動性を考慮し、下方変動に重点を置き安定した運用成績を高く評価するMorningstarのリスク調整後リターン指標によって計算されます。Morningstar Ratingは販売手数料調整を含みません。各商品カテゴリーの中の上位10%の商品は5★を付与され、次の22.5%の商品は4★、次の35%は3★、次の22.5%は2★、下位10%の商品は1★をそれぞれ付与されます。Overall Morningstar Rating (Morningstar総合評価)は、運用商品の3年、5年、10年(該当する場合)の各Morningstar Rating測定基準と関連する運用成績の加重平均に由来します。加重方法は次の通りです: 36ヶ月~59ヶ月間のトータルリターンがある商品は3年指標で100%の加重、60ヶ月~119ヶ月間のトータルリターンがある商品は3年指標で40%、5年指標で60%、120ヶ月以上のトータルリターンがある商品は10年指標で50%、5年指標で30%、3年指標で20%です。一方で120か月以上の運用実績のある商品の場合の総合評価方式は10年の指標に最も大きい加重を与えているように思われがちですが、直近3年の運用成績情報は3つの年指標全てに含まれていないため最も影響します。©2020 Morningstar, Inc. All Rights Reserved. この資料に含まれているMorningstar Rating™情報は(1) Morningstarの占有情報であり、(2) 複製・複製または配布されてはならず、(3) 正確、完全、またはタイムリーである保証はありません。Morningstarまたはその情報提供者は、この情報の使用による損害または損失があっても責任は一切負いません。過去の運用実績は将来の運用結果を保証するものではありません。

不動産担保証券を含む不動産関連証券は、不動産の価格に影響を与える重大な経済的、政治的または規制上の事象にさらされることがあります。不動産関連証券は、モーゲージの期限前償還率が下がれば証券の返済期間が延長され、金利へのエクスポージャーが高まる、というリスクがあります。連邦機関または米国政府系機関が発行した、または保証された証券は、米国政府の十分な信頼及び信用に裏付けられているとは限りません。カウンターパーティーが支払義務を履行することができなかった場合、当ファンドは損失を被り、当ファンドの株式の価値が下がる可能性があります。当ファンドがレボ取引に投資した場合、レボ取引の担保が市場及び信用リスクにさらされる可能性があります。ハイイールド債、つまり「ジャンク債」は、格付けの高い有価証券よりも市場の変動が大きく、損失のリスクが高いため、極めて投機的である可能性があります。非流動性証券は、売却したいときに当ファンドが売却できないリスク、または当ファンドによる評価額と同様な価格で売却できないリスクを伴います。通常、当ファンドの株式の一部は現物設定・現物交換ではなく、金銭設定・金銭交換が行われます。そのため、当ファンドは税効率が比較的低い可能性があります。ショートは、より大きな利益またはより大きな損失をもたらす可能性があります。ショートには、リターンのボラティリティを高め得る特殊なリスクが存在します。ショートによる損失は、ショートの対象となっている証券の価格上昇から派生するため、理論上は無限度です。当ファンドは「非分散型」に分類され、限られた数の発行会社に比較的高位の比率で資産を配分することがあります。従って、当ファンドは一社又は数社に影響を与える単一の重大な経済的又は規制上の出来事から影響を受けやすいこと、変動率が高くなること、及び特定の発行会社に極めて集中して投資することがあります。

## 用語集

**標準偏差**は価格の変動性(リスク)の指標です。**アルファ**は、投資対象のリスク調整後リターンがどれくらいベンチマークを上回るか下回るかの指標です。**ベータ**は市場に対する価格変動性の指標です。**シャープレシオ**は標準偏差の一単位あたりの超過リターンの指標です。**相関係数**はパフォーマンスの類似性を測る指標です。**ICEBoFA 1-5年US Treasury & Agency指数**は、米ドル建て米国債及び非劣後米国政府系機関債のパフォーマンスを測るものです。

連邦預金保険公社によって保証されていません。銀行によって保証されていません。従って損失を被ることがあります。